

プロフィール

# TDKの歴史

## 1935年 「フェライト」の発明が原点

日本生まれの画期的な磁性材料「フェライト」を製品にするために1935年に設立されたのが、「東京電気化学工業株式会社(後のTDK)」でした。このフェライトを開発したのが、東京工業大学の加藤与五郎博士と武井武博士。TDKは、まさに“大学発ベンチャー企業”のさきがけとして、さまざまな電子材料を開発し、エレクトロニクスの発展に寄与してきました。



第1号フェライトコア



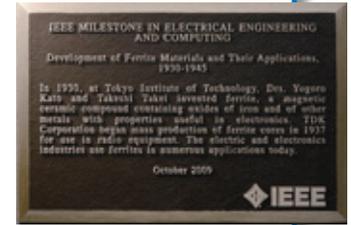
加藤 与五郎 博士



武井 武 博士

## 2009年 IEEEマイルストーン認定

東京工業大学とTDKによる「フェライトの発明と工業化」が、電気・電子技術などの歴史的偉業に与えられる「IEEEマイルストーン」に認定されました。この認定は、電気・電子関連の世界的学会であるIEEEが社会や産業に貢献した技術や製品を表彰するもので、1983年に制定されて以来、世界で89番目、日本では10番目の認定となります。



IEEEマイルストーン銘板



## 1966年 国産第1号のカセットテープ開発

国産初のカセットテープを開発し、音楽ライフを大きく変えたTDK。その後の爆発的なヒットによって、TDKの社名を世界中に知らしめました。

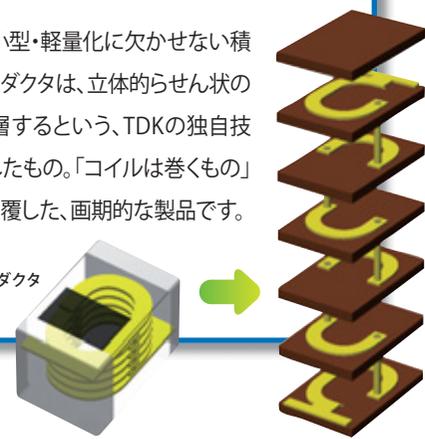


国産初の「シンクロカセットテープ」

## 1980年 積層チップインダクタ開発

電子機器の小型・軽量化に欠かせない積層チップインダクタは、立体的らせん状のコイルを積層するという、TDKの独自技術から誕生したもの。「コイルは巻くもの」という常識を覆した、画期的な製品です。

積層チップインダクタの構造



## 1994年 HDD用高密度記録MR磁気ヘッド発売

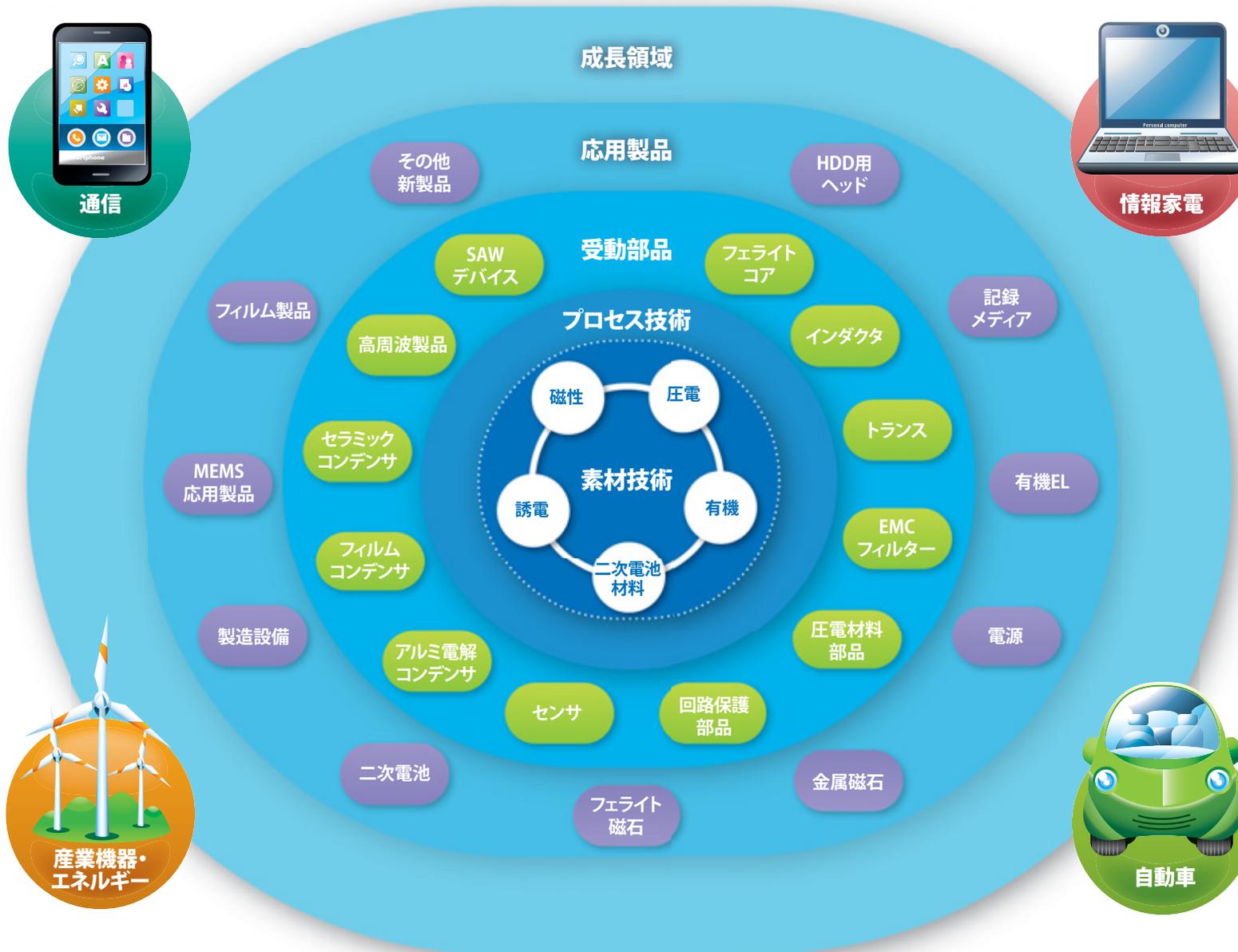
PCなどの大容量記録メディアとして用いられるHDD(ハードディスクドライブ)。TDKは、ナノレベルの薄膜技術が求められるHDD用磁気ヘッドの分野で、世界最高水準の技術力を有しています。



HDD用磁気ヘッド

プロフィール

事業概要



素材技術とプロセス技術をコアに  
エレクトロニクス分野を牽引

フェライトを原点に蓄積してきた素材技術と、微細な電子部品をカタチにするプロセス技術——これらコアテクノロジーを軸に先進的かつ独創的な技術を磨き続けることで、TDKは多彩な電子部品を開発し、エレクトロニクス産業の進化に貢献してきました。TDKの生み出す電子部品は、エレクトロニクス製品をはじめ、身の周りのさまざまなものに組み込まれ、私たちの生活をより豊かなものにしていきます。

豊かな環境の実現に貢献する  
多彩な製品を開発

例えば、モバイル機器のさらなる進化のために。あるいは、環境に優しい次世代自動車を実現するために——通信、自動車、産業機器・エネルギーや情報家電など、技術革新が進む先端分野で、電子部品は大きな役割を果たしています。TDKは、最終製品メーカーと開発段階からテーマを共有し、その解決に寄与する高付加価値な電子部品を開発することで、産業社会のさらなる発展に貢献しています。

プロフィール

# グローバル展開

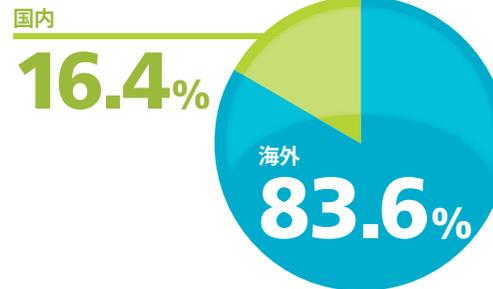
TDKグループの  
主な研究開発・生産拠点



## TDK株式会社の会社概要

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| 商号      | TDK株式会社<br>英文商号 TDK Corporation |
| 登記上の会社名 | TDK株式会社                         |
| 本社      | 東京都中央区日本橋1-13-1                 |
| 設立      | 1935(昭和10)年12月7日                |
| 従業員数    | 連結 87,809人(2011年3月末)            |

海外生産比率



海外売上高比率

